財団が2014年度に実施した事業

ベルマーク財団が2014年度に実施した事業について報告します。今年5月18日の財団理事会と6月3日の財団評議員会で審議され、事業内容・決算報告とも、適正なものと承認されました。

①参加団体の集票点数

14年度の集票は5億8851万点でした。消費税アップの影響などもあり前年度を1887万点下回りましたが、4年連続で5億円台に乗りました。

②設備品購入額

お買い物の総額は、5億2430万円でした。前年度を971万円上回りました。サッカーボールやウオータークーラーなど定番の人気商品のほか、岩壁を模した板を上るクライミングウオールやAEDのような、新しい設備も購入されました。運動が始まった1960年からの累計は、264億802万円です。

③参加団体の数

今年3月末で2万7812団体です。147団体減りました。少子化や学校の統廃合が続いているためです。参加している児童・生徒数は943万人。9万人の減少です。06年から参加できるようになった公民館・大学は、23増えて238団体です。

④被災校支援

【東日本大震災被災校】

協賛会社キユーピーの被災校支援のための特別寄付も含め、岩手、宮城、福島3県の計157校に、教育備品や教材の寄贈、クラブ活動や校外学習で必要な生徒移動のためのバス費用援助として、合計3750万円相当を援助しました。支援の対象校と内容は、学校の被災、復興状況に詳しい3県の小学校長会、中学校長会の全面的な協力を得て決めました。

大震災から4年間の支援は、3県に当初の茨城を加えた4県の延べ1188校を対象に、総計3億7240万円相当になりました。

【広島土砂災害被災校】

広島県内の、被害を受けなかった地域の学校PTAから支援の呼びかけがあり、4校に計99万円相当を支援しました。

⑤教育援助事業

【へき地校支援】

全国70校に、視聴覚・理科機器や楽器など、2106万円相当の設備品を贈りました。

出前授業は、一輪車講習会を7回、理科実験教室を9回、走り方教室を3回、アート教室を3回、演劇公演を2回実施しました。

【特別支援学校支援】

養護学校20校、盲学校19校、聾学校14校と、病院内学級4学級に合計1480万円相当の設備品を贈りました。

養護学校には視聴覚機材等、盲学校には拡大読書器、聾学校には教材提示装置、病院内学級にはパソコン等を贈りました。

【開発途上国の学校などへの援助】

参加団体がPTA預金から寄付して下さる資金と財団の予算を合わせて、開発途上国の学校、図書館建設、保健教育活動などを支援しています。14年度は、アジア・アフリカなどで活動する9団体を通じて、9カ国に計3883万円を支援しました。参加団体からのこの寄付を「友愛援助」と呼んでいます。

⑥協賛会社・協力会社

商品にベルマークをつけている協賛会社に、イオントップバリュが文具で新たに加わりました。一方、ナカバヤシ（学習帳）と日本デキシー（紙容器）の2社が脱退し、計58社となりました。今年4月にはBRITA Japanが加入、現在は59社となっています。予断を許さない経済情勢ではありますが、ベルマーク運動に理解のある新規協賛会社の開拓に引き続き力を入れていきます。

ベルマーク参加団体に商品を販売する協力会社は15社で変動ありません。

⑦運動推進事業・広報宣伝事業

【運動説明会】

新たにベルマーク運動の担当になったPTAのみなさんに、運動の仕組みや実務を理解してもらう催しです。14年度は5月から6月にかけて、47都道府県の90都市・地域で96回開催しました。5051校から1万4018人に参加いただきました。前年より193人増えました。

【ベルマーク新聞・ホームページ】

14年度から、財団ホームページを全面的にリニューアルしました。毎月40万ページビューという、たくさんのご利用をいただいています。項目を整理して見やすくし、PTAのみなさんが日ごろお買い物するときに、ベルマークがついている商品を調べる仕組みも新設しました。財団が全国で支援している活動も紹介しています。

新聞は例年通り、年4回発行しました。発行部数は約8万～10万部です。被災地校支援の状況や、PTAのみなさんの活動の様子など、ベルマークをめぐるニュースを積極的に伝えました。

⑧新たな取り組み

【学校外でのマーク集め】

地域の学校や、災害被災校にマークを贈りたいと、企業や労組のみなさんがベルマークを集める申し出が増えています。市を挙げて集めたベルマークの半数を市内の学校に、残りを東日本大震災の被災地校に贈るという東大阪市のように、こうした動きは自治体にも広がっています。財団から職員が出向いて、仕分け・集計の方法を伝え、運動の拡大を図りました。

【仕分けボランティア募集】

学校外からのマークの寄贈は、未分類・未集計のものも多いため、協賛会社に請求して被災校に贈るまで時間がかかります。このため、寄贈された未整理マークを分類・集計してもらう「仕分けボランティア」を呼びかけました。15年1月にベルマーク新聞とホームページで募集し、3カ月間で77人・団体の応募がありました。協力を得て、寄贈マークの善意を生かしていきます。

被災157校支援／運動、学校外に拡大

ベルマーク新聞新年号（2016年1月10日発行）でも紹介します。

▼賞金と参加賞　優秀賞10点には各3万円と副賞の額入り表彰状、佳作10点と特別賞には各1万円と額入り表彰状、ほかの応募団体には参加賞として図書カードを贈ります。

より手軽にウェブベル

東北の被災校支援を目的にしたウェブベルマーク運動に、フェイスブックやツィッター、LINEといったSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）から参加する例が増えています。運動を運営する一般社団法人ウェブベルマーク協会はそれぞれに公式アカウントを持っており、自宅などでパソコンをわざわざ開かなくても、スマホやタブレットで、いつでもどこでも手軽に参加できます。

ネットショッピングで支援金を生み出すために、2013年の運動発足からしばらくは、協会サイトで会員登録をしたうえで、運動に協賛する会社のサイトで買いものをする必要がありました。

いまは、登録なしでも簡単にできます。また、協会サイトのバナー「1クリック募金」をクリックするだけで3円の支援金が生まれる機能も加わっています。

いずれの場合も、支援のための追加負担はありません。

脱退2社のマーク注意

今年3月31日に協賛会社を脱退した株式会社日本デキシー（ベルマーク番号80）とナカバヤシ株式会社（ベルマーク番号50）のベルマークは、6カ月後の9月30日ベルマーク財団到着分まで有効です。

10月1日以降の財団到着は無効になりますので、忘れずにお送りください。

財団からの「お知らせ」

愛される文具求めます

いろいろな文具にベルマークを付けている協賛会社のクツワ（ベルマーク番号55）が、文具についての斬新なアイデアを募集しています。

「100年後も愛される文具」と銘打ち、文具や事務用品、とくに子どもが使う学童文具を対象に、7月31日（必着）まで受け付けています。

クツワの商品をベースに工夫を凝らしたもので、「斬新で機能やデザインに優れ、付加価値があるもの」「商品化の可能性があるもの」を基準に社内で審査し、大賞1点に賞状と10万円分の商品券を贈るほか、複数の優秀賞、入賞アイデアにも商品券を贈呈します。10月1日にクツワホームページ上で発表します。

参加資格は問いません。親子、子ども同士、会社の同僚などグループでの応募も歓迎しています。

詳しい要領や応募用紙のダウンロードは以下のURLへ。

http://www.kutsuwa.co.jp/community/

問い合わせは、クツワのサービスセンター（電話06―6745―5611＝平日10～17時）。

Tシャツに4つの機能

協賛会社のファインプラス（ベルマーク番号39）が吸汗速乾やUVカットなどに優れた、機能付きTシャツを発売しました。

ベルマーク公式キャラクターのベルマーくんやベルマークファミリー、ベルマークのロゴがデザインされた柄があしらわれています。すでに販売されているTシャツとは別に新しく開発されました。

ウエアには「吸汗速乾」「UVカット」「防蚊機能」「抗菌防臭」の四つの機能をそなえています。汗によるベタつきを抑え、清潔でさわやかな着心地を保ちつつ、日焼けや虫刺されから肌を守ることができます。

レディース用（M～LL）とキッズ用（120～140）があり、それぞれ3柄・柄ごとに3カラーをラインナップ。4月下旬よりヴィクトリア（関東に26店舗、一部店舗を除く http://www.victoria.co.jp/）で販売されています。

「ベル便り」待ってます

第30回ベルマーク便りコンクール（2015年度）の作品を募集します。学校・幼稚園などから、家庭や子どもたち、地域に向けてベルマーク運動への協力を呼びかけて配っている新聞・広報紙などをベルマーク財団にお送りください。

▼応募方法　定期的に発行している新聞・広報紙やお知らせプリントを始め、特集号や冊子など過去1年以内（2014年10月1日～2015年9月30日）に製作されたものが対象です。サイズは問いません。年間の活動状況がわかるように、なるべくたくさんの作品（号数）をお送りください。

▼あて先

〒104・0045

東京都中央区築地5の4の18　汐留イーストサイドビル7階

ベルマーク財団「ベルマーク便りコンクール係」

▼締切日　2015年9月30日（水）消印有効

▼入賞作品発表　11月に財団ホームページで入賞校を発表

大台達成校

4月、数字は累計点数

大宮別所小	さいたま市北区	5,001,893
十日市場小	横浜市緑区	3,063,180
可部南小	広島市安佐北区	3,055,636
苅田小	福岡県苅田町	3,021,431
西南部小	金沢市	3,019,769
鴨居小	横浜市緑区	3,017,844
梅小路小	京都市下京区	3,017,216
五日市東小	広島市佐伯区	3,015,416
平川小	山口市	3,015,152
遠野小	岩手県遠野市	3,004,724
湯川小	北海道函館市	3,004,235
四宮小	東京都杉並区	3,003,708
坂本小	横浜市保土ケ谷区	3,002,148
日高小	愛知県刈谷市	2,028,591
小山城東小	栃木県小山市	2,022,523
桂城小	秋田県大館市	2,022,230
牟礼南小	高松市	2,021,917
三芳小	埼玉県三芳町	2,021,185
市浜小	大分県臼杵市	2,012,450
中丸小	横浜市神奈川区	2,010,264
上矢部小	横浜市戸塚区	2,009,514
泉小	金沢市	2,007,995
西城山小	長崎市	2,005,258
古谷小	埼玉県川越市	2,000,194
西念寺保育園	京都市山科区	1,017,670
甲南第二小	滋賀県甲賀市	1,011,264
篠村幼稚園	京都府亀岡市	1,009,543
女鳥羽中	長野県松本市	1,007,544
朝霞第五小	埼玉県朝霞市	1,005,564
中島小	広島市中区	1,001,373
杉並日の出幼稚園	東京都杉並区	1,000,875

5月

小俣小	三重県伊勢市	12,001,496
下松小	山口県下松市	8,002,427
三宅小	福岡市南区	6,018,558
川尻小	秋田市	5,037,143
芦子小	神奈川県小田原市	4,051,071
岩倉北小	愛知県岩倉市	4,045,325
相模台小	千葉県松戸市	4,039,170
霞ケ丘小	神戸市垂水区	4,006,622
港北小	秋田市	4,004,576
辻堂小	神奈川県藤沢市	3,023,101
渟城西小	秋田県能代市	3,013,129
前田小	高松市	3,009,260
入野小	浜松市西区	3,005,248
吉田小	広島県安芸高田市	3,001,753
潮見小	松山市	3,000,725
駒林小	横浜市港北区	2,009,438
なおび幼稚園	東京都小平市	2,003,955
さくら小	東京都豊島区	2,003,820
輪王寺附属日光幼稚園	栃木県日光市	2,001,267
富士見丘小	東京都杉並区	2,000,037
郡家幼稚園	香川県丸亀市	1,014,471
篠路小	札幌市北区	1,014,088
今川小	大阪市東住吉区	1,010,786

6月

明星小	東京都府中市	7,016,988
西小	静岡県伊東市	6,013,056
梅田小	神奈川県茅ケ崎市	4,036,364
伝馬町小	静岡市葵区	4,029,691
王子第一小	東京都北区	4,029,582
梅ケ丘学園	愛知県豊田市	4,028,426
大平小	青森県むつ市	3,036,453
加茂小	大阪府高石市	3,002,980
厚狭小　山口県山陽小野田市		2,050,831
新曽北小	埼玉県戸田市	2,043,833
城北小	静岡市葵区	2,036,311
古川第四小	宮城県大崎市	2,010,363
神河中	兵庫県神河町	2,009,395
多田東小	兵庫県川西市	2,007,508
沢池小	大阪府茨木市	2,002,938
西脇小	神戸市垂水区	2,002,018
萱野小	大阪府箕面市	1,056,108
都賀幼稚園	栃木県栃木市	1,011,602
湊はなぞの幼稚園	堺市堺区	1,007,587
桜美林幼稚園	さいたま市緑区	1,002,904

阿蘇降灰被害の2校 財団、マークを寄贈

熊本県の阿蘇山・中岳の昨年秋の噴火に伴う降灰被害を受け、最も大きな被害がみられた同県高森町の高森中央小学校（河津伸哉校長、251人）と高森東中学校（西嶋徹校長、14人）のベルマーク運動参加2校に対して、ベルマーク財団は、それぞれベルマーク20万点と10万点を寄贈しました。

噴火後、同地区の降灰は厚さ数ミリを記録し、校舎やグラウンドも灰に覆われました。

全児童・生徒に対しては、目を保護するためのゴーグルと防塵マスクがすぐに町から配られました。

高森中央小では、予定していた12月の持久走大会を中止したほか、冬場の体育授業はすべて体育館に振り替えました。風が吹くたびに積もった灰が舞い上がるなど、いまも児童・生徒たちを悩ませています。

高森中央小の河津校長は「毎日きれいに清掃をしていますが、風や人の出入りに伴って、すぐに床がざらつくなど、火山灰とのイタチごっこが続いています。少しでも清掃が楽になるようにPTAのみなさんと購入備品の相談をしたい。マーク寄贈の援助は本当に助かります」と話していました。

45年連続 財団に寄付

ミズノスポーツ振興財団

今年100万円

内橋悟事務局長

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団（水野明人会長、東京・千代田区）が4月24日、ベルマーク財団に100万円を寄付しました。1971（昭和46）年から45年連続、累計では8650万円にのぼります。当初からおもにへき地学校などへのスポーツ振興に活用され、東日本大震災以降は被災校支援でも生かされています。

ミズノスポーツ振興財団の内橋悟事務局長と、ベルマーク運動協力会社のミズノ営業本部・首都圏支社の河原修一専任次長（兼）営業開発2課長、営業開発室の渡辺市子さんが財団を訪れ、寄付の目録を財団の中島泰常務理事に手渡しました。

内橋事務局長は「スポーツは平和でないとできないもの。平和の象徴であるスポーツの振興のために、自分たちができる支援を続けていきたいです」と話しました。

ベルマーク財団への寄付は、ミズノ創業者である故水野利八氏の遺志で水野スポーツ振興財団（ミズノスポーツ振興財団の前身）が設立された翌年から始まったものです。

◇

協力会社のミズノはベルマーク預金で購入できる教材や教育備品などを取り扱う一方で、ベルマーク財団の補助事業「教育応援隊」で「走り方」と「サッカー」のスポーツ教室を開催しています。

被災校へバス代支援

「学校から継続要望」

岩手県中学校長会長、財団へ

岩手県中学校長会の佐藤嘉彦会長（盛岡市立上田中学校長）が5月18日、ベルマーク財団を訪れました。財団が東日本大震災の被災校に援助しているバス費用について、佐藤会長は「本当にありがたいです。学校からはぜひ続けてほしいと要望が出ています」と述べました。

佐藤会長によると、2014年5～12月、クラブ活動の遠征試合や吹奏楽大会出場などに約100台のバスを借りることができたそうです。ガソリン高騰などでバス費用は1回につき2万～3万円上がったため、「沿岸校はとても助かりました」と話しました。

財団の中島泰常務理事は「新年度も予算化しています。学校が使いやすい支援を続けていきたいので、どういう風に役に立てるか、今後も教えていただきたい」と応じました。

大震災から4年目を迎えた2014年度、財団は岩手・宮城・福島3県の被災校157校に対し、教育備品や教材の寄贈、生徒たちの移動に使うバス費用援助として、計3750万円相当の支援事業を実施しました。

学校の被災・復興状況に詳しい3県の小学校長会・中学校長会の全面的な協力を得て、対象校と支援内容を決め、1校あたり20万円を限度として資金援助しました。

157校のうち、岩手の26中学校、宮城の34中学校、それに福島の1中学校の計61校からはバス費用の援助を要望されました。

一方、2014年秋には、協賛会社キユーピーによる被災校支援のための特別寄付もあり、要望の強いバス費用援助として対象の61校に10万円ずつ、計610万円を増額支援しました。

新評議員に加藤氏ら

ベルマーク財団

ベルマーク財団（銭谷眞美理事長）は6月3日、評議員会を開き、任期満了を迎えた評議員9人のうち6人が再任、新たな評議員に日本PTA全国協議会副会長の加藤寿一（かとう・としかず）氏ら3人を選任しました。理事は任期満了を迎えた8人全員が再任しました。監事は1人が交代しました。理事長は、引き続き銭谷氏が務めます。

◇

6月現在のベルマーク財団理事・監事・評議員は次の通りです。

（敬称略）

▼理事長　銭谷眞美（東京国立博物館長）

▼専務理事　西村陽一（朝日新聞社常務取締役編集担当）

▼常務理事　中島泰（前朝日新聞社論説副主幹）

▼理事　渡辺通弘（昭和音楽大学名誉教授）、川淵三郎（日本サッカー協会最高顧問）、内海孝（東京外国語大学名誉教授）、黒田玲子（東京理科大学教授）、神垣清水（前公正取引委員）、真砂靖（弁護士）

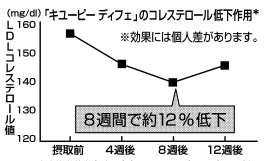
▼監事　杉浦文彦（公認会計士）、小西勝英（朝日新聞社取締役財務担当兼財務本部長）

▼評議員　加藤寿一（日本PTA全国協議会副会長）、小滝岩夫（全国連合小学校長会事務局長）、堀井榮夫（全日本中学校長会事務局長）、小栗洋（全国高等学校長協会事務局長）、野村昌彦（弁護士）、田嶋一（國學院大學文学部教授）、氏岡真弓（朝日新聞社論説委員）、鈴木健（朝日新聞社ブランド推進担当補佐）、中西豊樹（朝日新聞社大阪本社編集局長補佐）

愛は食卓にある。

コレステロールを下げる。

卵のコクで、おいしさをさらにアップしたキユーピー ディフェ。
総コレステロール値が200mg/dl以上、とくにLDLコレステロール値が120mg/dl以上の方におすすめします。



日本病態栄養学会誌 8(2)、139-148(2005)より改編
＊コレステロールが高めの方（LDLコレステロール値120mg/dl以上）26名が、「キユーピー ディフェ」を1日15g、毎日摂取した結果。

カロリーも50%カット（当社比）。

キユーピーディフェ

www.kewpie.co.jp/defe